

平成 30 年度 南信州地域交通問題協議会 総会 議事録

<概 要>

日 時：平成 30 年 6 月 18 日（月） 13:30～14:50

会 場：南信消費生活センター 2 階大会議室

出席数 32 名、委任状により出席とみなされた者 5 名、欠席 4 名、委員総数（現在数）41 名

<協議事項>

- (1) 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び決算報告について
- (2) 第 2 号議案 平成 30 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- (3) 第 3 号議案 地域公共交通確保維持改善事業「生活交通確保維持改善計画」について
 - ① 飯田市（飯田市地域公共交通改善市民会議）
 - ② 松川町（松川町地域公共交通対策協議会）
 - ③ 阿南町（下伊那南部地域公共交通対策協議会）
 - ④ 阿智村（阿智村地域公共交通協議会）
 - ⑤ 根羽村（西部コミュニティバスを守り育てる会）
 - ⑥ 喬木村（喬木村地域公共交通会議）
 - ⑦ 豊丘村（豊丘村地域公共交通会議）
 - ⑧ 大鹿村（大鹿村地域公共交通会議）

<報告事項>

- ・地域交通ベストミックス構築事業について
- ・平成 29 年度運行実績報告について（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

- ・議事録署名人に飯田市地域公共交通改善市民会議会長 川手重光氏及び下條中学校前 PTA 会長 古田肇氏が選任された。

<協議内容>

- (1) 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び決算報告について
 - ・第 1 号議案について、南信州地域交通問題協議会事務局より説明。
 - ・内容に関する質疑応答は特になかった。
 - ・議案の通り承認された。
- (2) 第 2 号議案 平成 30 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 - ・第 2 号議案について、南信州地域交通問題協議会事務局より説明。

☆意見

<長野県タクシー協会下伊那支部 鈴木支部長>

- ① 名古屋大学との連携について具体的な内容が分かることがあれば教えてほしい。
- ② 利便性の向上において乗り換えの情報は重要である。事業計画には入っていないが、南信州地域交通問題協議会のホームページや県の信州ナビとどのように連携させていくか。

- ③ 利用者が減ってきていると言っているが、行政の町村職員が積極的に利用していないのではないか。職員が実際に乗って利便性の改善等の検討を行うなど事業計画の中に何らかの形で位置付けられないか。

↓

<事務局>

- ① 国や県が推進する様々な事業（補助メニュー）があっても、当事務局には知識やノウハウがない。当地域に活用できる事業があれば、加藤先生にアドバイスをもらい取り組んでいきたい。現時点では具体的な内容はないが、事業を進めていく中で具体的に示すものがあれば来年の事業報告の中で報告したい。
- ② 乗り継ぎについては、県の「信州ナビ」の活用を視野に入れているが、（乗り継ぎ）サービスを拡充していくことになれば連携していく。独自でシステムを構築すると費用がかかるため、連携できるところと進めていきたい。
- ③ 市町村職員が公共交通を利用していない現状は把握している。今後、（市町村担当者がメンバーである）運行事業者ワーキングチームで、お互いに市町村のバスに乗る機会を創出したり、（利用改善につながる）勉強会等を行うことも検討したい。

☞議案の通り承認された。

(3) 第3号議案 生活交通確保維持改善計画について

- ① 飯田市（飯田市地域公共交通改善市民会議）
② 松川町（松川町地域公共交通対策協議会）
③ 阿南町（下伊那南部地域公共交通対策協議会）
④ 阿智村（阿智村地域公共交通協議会）
⑤ 根羽村（西部コミュニティバスを守り育てる会）
⑥ 喬木村（喬木村地域公共交通会議）
⑦ 豊丘村（豊丘村地域公共交通会議）
⑧ 大鹿村（大鹿村地域公共交通会議）

・第3号議案について、各市町村の公共交通担当者より説明。

☆意見

<泰阜村長>

- ・国の補助金が少なく（出なく）なると、今後も廃止を余儀なくされるバスが出てくるのではないかと。県は国の補助ができない場合の下支えをしてほしい。県が交通弱者を支えようとする姿が見えない。要望としてお願いしたい。

☞議案の通り承認された。

<報告事項>

(1) 地域交通ベストミックス構築事業について

(2) 平成 29 年度運行実績について（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

- ・ 報告事項(1)及び(2)について、南信州地域交通問題協議会事務局より一括して説明。
- ・ 内容に関する質疑応答は特になかった。

☆意見

<泰阜村長>

- ・ 市民バス三穂線が増えた理由をお聞きしたい。

↓

<飯田市 吉沢>

- ・ 高校生が増えていると運行事業者から聞いている。どの路線も共通して言える。

○国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局 宮本 首席運輸企画専門官より

- ・ (地域公共交通確保維持改善事業「生活交通確保維持改善計画」の提出に関する補足説明。)
- ・ 運転者不足は全国的に顕著になっている。人材の確保が課題。
- ・ コンパクトシティ政策を推進しているが、中山間地域が多い地域では現実的に無理だと考えられる。
- ・ 長野県は車の保有台数も多く、また自家用車を持たない世帯が少ない。そういったことも視野に入れた対応も重要。車に維持費や税金を払っているからこそ使おうという意識になるのもやむを得ないと考える。

以上

南信州地域交通問題協議会 総会 出欠席者名簿 (平成30年6月18日)

区 分	所属団体等	委員名		出欠席	代理出席者名
		役 職	氏 名		
公共交通利用者 (住民代表)	飯田市地域公共交通改善市民会議	会 長	川手 重光	○	
	飯田市地域公共交通改善市民会議	副会長	牧島 定好	○	
	喬木村	区長会長 (阿島区長)	舟登 秀一郎	×	
	大鹿村自治会長会	会 長	岩本 純一	○	
	阿南町老人クラブ連合会	会 長	伊藤 正勝	○	
	下條中学校	前PTA会長	古田 肇	○	
	阿智村自治会連絡協議会	副会長	小松 康夫	×	
	阿智村浪合自治会	会 長	山田 廣道	×	
環境団体	地域ぐるみ環境ISO研究会	会 長	関 重夫	○	事務局員 福岡 健志
福祉事業者	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会	会 長	中島 武津雄	○	
学校関係者	下伊那地区高等学校長会 (会長:長野県飯田風越高等学校長)	校 長	花岡 秀樹	○	教頭 藤澤 由夏
商工観光関係者	飯田商工会議所	会 頭	柴田 忠昭	○	中小企業相談所 振興課 課長 松村 憲
	長野県商工会連合会南信州支部	所 長	清水 衆一	○	
	南信州観光公社	代表取締役社長	高橋 充	×	
公共交通 事業者	東海旅客鉄道(株)飯田支店	駅長・支店長	畑中 徹	○	助役 村田 利光
	信南交通(株)	社 長	中島 一夫	○	旅客サービス 副部長 林 浩人
	伊那バス(株)	社 長	藤澤 洋二	×	
	長野県タクシー協会下伊那支部	支部長	鈴木 佳史	○	
	大新東(株) 松本営業所	所 長	田村 和信	○	担当 櫻井 利朗
公安委員会	飯田警察署	署 長	小伊藤 修	○	交通係長 黒河内 淳史
	阿南警察署	署 長	井出 孝男	○	(再掲) 交通係長 黒河内 淳史
学識経験者等	広域連合議会	議 員	湊 猛	○	
	広域連合議会	議 員	熊谷 義文	○	
	名古屋大学大学院	環境学研究科 教授	加藤 博和	×	

道路管理者	国土交通省飯田国道事務所	所 長	尾出 清	×	
	長野県飯田建設事務所	所 長	坂田 浩一	○	企画幹兼維持管理課 課長 鈴木 進
行 政	南信州地域振興局	局 長	土屋 智則	○	企画振興課 担当係長 森谷 隆一
	飯田市	市 長	牧野 光朗	○	
	松川町	町 長	深津 徹	○	副町長 吉澤 澄久
	高森町	町 長	壬生 照玄	○	
	阿南町	町 長	勝野 一成	×	
	阿智村	村 長	熊谷 秀樹	○	総務課 主事 沖村 信繁
	平谷村	村 長	小池 正充	○	総務課 課長 滝澤 浩
	根羽村	村 長	大久保 憲一	○	総務課 課長 鈴木 秀和
	下條村	村 長	金田 憲治	○	
	売木村	村 長	清水 秀樹	×	
	天龍村	村 長	永嶺 誠一	○	
	泰阜村	村 長	松島 貞治	○	
	喬木村	村 長	市瀬 直史	○	企画財政課 課長 村澤 明彦
	豊丘村	村 長	下平 喜隆	○	総務課 係長 松下 浩之
	大鹿村	村 長	柳島 貞康	○	総務課 主任 仲田 裕樹
	南信州広域連合	広域連合長	牧野 光朗	○	(再掲)
オブザーバー	国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局	首席運輸企画専門官	宮本 卓	○	
	県企画振興部交通政策課	課 長	宮島 克夫	○	交通企画係 係長 清水 斉
事務局	南信州広域連合	局 長	高田 修	○	
		次 長	松江 良文	○	
		広域振興係長	櫻井 英人	○	
		主査	仲田 伸久	○	
		主査	一柳 和宏	○	